

平成 21 年 8 月臨時議会

# 町長所信表明演述

私は、去る7月26日執行の町長選挙におきまして、町民の皆様の力強いご支援をいただき、三期目の町政を担うこととなりました。

大変光栄に存ずるとともに、その責務の重大さに身の引き締まる思いであります。

三期目の町政運営につきましては、去る3月議会で申し上げました施政方針演述と大きく変わっておりませんが、新しい4年間の始めにあたり、その一端を申し上げます。

私は、今回の選挙にあたり、町づくりの基本目標として

生活環境の充実

医療・福祉の再構築と若年者福祉の充実

家庭、学校、地域の連携した教育の充実

元気の出る農・林・商・工産業の振興

豊かな心と環境を未来へ届ける町

という町づくりの5つの基本目標をお示しし、本町が進むべき21世紀へのビジョンを具体的にお訴え申し上げたところであります。

## 市町村合併

新たな地方分権改革、定住自立圏構想、道州制の導入に向けた検討の加速など、時代は大きな転換期にあり、まさに、地域ごと、自治体ごとの能力の真価が問われる時代であります。

「自立・持続」の基本方向を堅持し、引き続き「小さい町でなければならない、小さい町だからこそできる町づくり」に取り組んでまいります。

この基本方向は、未来永劫に合併しないということではなく、あくまでも「当面」の姿勢であります。

今後、具体的な形となると考えられるこれら新たな制度も視野に入れ、町の行財政の状況等を情報提供しながら、議会はもとより、町民の皆様の意思を尊重し対応してまいります。

## 産業の振興

基幹作物の生産拡大と無農薬・無化学肥料による安全安心な農業の推進、安全安心農産物認証・表示制度による差別化した農産物の販売拡大を図るとともに、学校給食への安全な町産食材の供給を拡大してまいります。

また、集落営農を推進し農業の担い手を確保するとともに、遊休農地を活用した農作物の特産化を推進してまいります。

森林林業日本一は、町づくりの柱であります。多額の融資をしました木工団地は、少しずつではありますが、着実に再建の道を歩んでいます。

先人が営々と築いてこられた森林を価値あるものにするため、森林の整備を進め、町有林、民有林からの素材の安定供給に努めながら地域林業システムを推進してまいります。

地域産業の活性化、滝観洞インターチェンジなど交通の利便性を活かした企業誘致の推進と誘致企業との連携による新たな産業と雇用の場を創出してまいります。

また、商店街にある資源を有効活用しながら、人の賑わいを取り戻し商店街を活性化するため、新たなプロジェクトを立ち上げてまいります。

## 教育振興

町づくりの基本は、人づくりです。教育の原点は家庭であり、子供が社会性を身につけるのは地域であり、その上で、社会に生きる知識と技術を身につけるのが学校と考えております。

本町の特色である保・小・中・高の系統的・継続的な教育活動を引き続き深めながら、小さい町だからできるきめ細かい連携した教育活動を推進し、学力向上を図ってまいります。

家庭や地域の持つ教育力をそれぞれの役割として明確に位置づけながら、児童生徒の生きる力を育む、よりよい教育環境の整備を図ってまいります。

本町のような地域におきまして、中高一貫教育校は、新たな学校教育の有効な方法と考えています。住田高校の魅力づくりを支援しながら、中山間地域における人材育成の提言として、県立併設校としての中高一貫教育校の設置に向けた取り組みを継続してまいります。

## 福祉医療

医療、福祉、教育は、自治体としての存続意義であり、特にも、医療と福祉につきましては、本町の喫緊の課題であります。

新たな医療と福祉の連携の再構築や高齢者福祉施設の整備など、高齢者福祉の

拡大と在宅福祉の充実を推進するとともに、子供の養育に要する医療費や手当の支援など、若年者福祉の拡大を図り、町民の皆様が、住み慣れた地域で、健やかに安心して暮らせるような環境づくりを推進してまいります。

住田地域診療センターへの内科常勤医の配置など、日常的な医療体制の確保と充実に取り組んでまいります。

## 町民対話

21世紀の町づくりにおきましては、町民の皆様と情報を共有し、町民の皆様の意思を反映することが大切であります。

本町の情報チャンネルである住田テレビを効果的に活用し的確な行政情報を提供するとともに、各種委員会への公募委員の導入を促進し、町民の皆様に積極的に町政に参画していただける町づくりを推進してまいります。

特に、重要課題であればあるほど、議会はもとより、町民の皆様と膝を交えた意見交換をしていくというスタンスはこれからも変わりありません。

## 行財政改革

効率的かつ効果的な行財政運営を推進するため、行政改革大綱と集中改革プランに基づき、事務事業・行政組織の見直し、職員の資質の向上など、行財政改革に積極的に取り組んでまいります。

民間でできることは民間に委ねることを基本に、行政の役割の重点化を図り、業務の委託化及び民営化を積極的に推進してまいります。

地区別委員会による地域づくりを支援し、町民の皆様の自主的で主体的な特色ある「協働」による町づくりを推進してまいります。

役場の原点に立ち返り、小さな役場を目指すとともに、町民の皆様の大切な税が生きる施策を展開してまいります。

## 社会環境

将来に向けて公共交通を町民の皆様の足として確保するため、利用環境の変化等を踏まえた新たな公共交通システムを確立します。

国・県道の整備促進と町道等の改良による利便性の向上、下水道区域外の合併浄

化槽の普及や資源のリサイクルによるゴミの減量化の推進により、生活環境の向上を図ってまいります。

## 結びに

自治体は、いつの時代にあっても、また、どの地域にあっても、その内容に違いはあるものの多くの課題を抱えています。

本町におきましても、行政運営にかかわった先達の誰もが、ときに早足で、ときに着実な前進によって困難を乗り越え、自治の歴史を重ねてこられました。

今を生きる私たちも、新しい時代を綴るため、決して諦めることなく、町民の皆様と手を携え、英知を結集し、「挑戦」を続け、課題を克服していく所存であります。

そして、この町で大切に育まれてきた人と人との絆、助け合い、地域を愛する心を次世代へ繋いでいかなければなりません。

「受け次ぎて国のつかさの身となれば忘るまじきは民の父母」

上杉鷹山が米沢藩上杉家第9代藩主として家督を継いだ時、自分の仕事は、父母が子を養うごとく民のために尽くすことであるとの決意を和歌に託して詠んだ歌であります。

このことは、時代を超えて、私が目指す「町民協働のまちづくり」にも共通するものがあると考えております。

以上、町政執行の重責を担うにあたり、基本的な考えを申し上げます。

議員各位をはじめ、町民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、所信の表明とさせていただきます。